

H-3 サリドマイドの運用についてのチームでの取り組み

○山口瑞彦¹、吉川圭子²、水澤裕子²、中野園子³、白井直美²、小野敏明¹、高橋良一³

近江八幡総合医療センター 薬剤部¹、看護部²、血液内科³

【目的】再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療薬としてサリドマイドが承認された。過去に大きな薬害を引き起こした薬剤であるため、それを取り扱う医療従事者及び患者がこの薬についての特徴と安全管理方法を十分に理解することが求められている。今回、サリドマイドの運用開始に伴い、運用方法、患者指導方法を検討したので報告する。

【方法】医師、看護師、薬剤師からなる血液内科チームで検討を行い、全体的な業務手順表、職種ごとに指導範囲を決め重要項目をまとめた患者用説明文書を作成した。

【結果】全体の業務手順表を作成することで、普段係わる機会の少ない医療従事者でも簡便に業務手順や薬剤管理時注意点を理解することができた。また、製薬会社作成の資料に加え、要点を絞った説明文書を渡すことで、治療や薬剤管理について患者の理解をより得ることができた。

【結論】今回承認されたサリドマイドは、その運用に関してFAXの送受信や確認試験の実施、カプセルシートの使用など、一般の薬剤には無い煩雑な手順が必要であり、薬剤管理や患者説明において間違える危険性がある。安全に運用するためにはそれに係わる職種がチームとして手順を確立することが有用であると考えられる。今後も様々な状況に対応できるように引き続き検討していきたい。